

平成30年厚真町議会第4回定例会一般質問通告一覧表

(平成30年12月18日)

通告議員氏名	質 問 の 要 旨	備考
1 井上 次男	<p>1 英語圏研修の継続について 本年度から32年までの英語圏への派遣について、生徒全員が英語研修に行けることが望ましいが、諸々の事情で全員派遣が実現せず、手上げ方式により3年間限定の実施となっている。 33年以後において、意欲ある子どもたちに夢のある英語圏への研修を継続していくべきではないかと考えるが、教育長と町長の見解を伺う。</p> <p>2 厚真町の土地利用について ここ数年、自治体および個人の所有の土地を国内の業者が取得し、その後、外国籍を持ち事業者等への転売が他の自治体において起きている。 厚真町において、このような事例が発生していないか伺う。</p> <p>3 本郷いこいの森パークゴルフ場の再整備について 今回の震災により、新町パークゴルフ場が社会福祉施設の応急仮設（福祉仮設）住宅等の建設用地へ転換されることとなった。 近年、高齢化に伴いパークゴルフ人口は減少しているが、町民が適度な運動を行い健康維持を図ることは町益につながると思う。町内のパークゴルフ場は、上厚真パークゴルフ場と本郷いこいの森パークゴルフ場の2カ所となるが、本郷いこいの森パークゴルフ場について、ホール数の拡大など再整備を行なうべきでは。</p>	収受 12/5
2 森田 正樹	<p>1 タブレット端末の導入について 9月6日に発生した胆振東部地震に関する情報や、その他の行政情報を町民へ届ける手段として、町の防災行政用無線は欠かせないものとなっている。 しかし、今後、防災に限らず、多面的な情報の取得や検索が必要不可欠となることが予測される。そこで、情報を聴くだけでなく、見る・検索できるタブレット端末が町民のニーズに欠かせないと思うが、将来的にタブレットの導入の考えはあるか。</p>	収受 12/5

2	森田 正樹	<p>2 防犯カメラについて</p> <p>胆振東部地震発生後、工事車両や一般車両など多くの車両の出入りがある。地震の影響で、まだまだ不安な生活をされている方々がおられるが、少しでも安心・安全な生活をしていただくため、仮設住宅や市街地商店、児童・生徒の通学路に防犯カメラを設置しては。</p> <p>また、農業機械や建設機械の盗難も懸念されることから、盗難防止のため、防犯カメラ設置に対する補助制度を設けては。</p>	
3	伊藤 富志夫	<p>1 土地・住宅の環境整備について</p> <p>① ルーラル地区のボーリング調査の結果報告と、今後の対策についての説明会開催の予定は。</p> <p>② 宅地復旧支援事業が打ち出され、ルーラル地区の住民説明会で「もっと手厚い支援ができないか」との意見が出たが、今後の見通しは。</p> <p>③ 住宅応急修理費助成事業について、一部損壊への支援が求められるが、今後の見通しは。</p> <p>④ 復興基金についての見通しはどうなっているか。</p> <p>2 健康と心のケアについて</p> <p>① 町職員等は、災害対応と通常業務が重なり、過重労働が続いているのでは。実態調査を行い、休日・休養についての具体的対応が必要では。</p> <p>また、職員の休養を図るためには住民の理解も必要だと思うが、見解は。</p> <p>② 限られた人数の中で膨大な仕事をこなしている。人員が必要な部署における臨時職員・正規職員の増員や、国・道の人的支援・財源要請が必要では。</p> <p>3 IRについて</p> <p>IR（カジノ誘致）の最優先候補地として「苫小牧市が妥当」となったが、ギャンブル依存症などの問題も多い。町長の見解は。</p>	収受 12/6
4	吉岡 茂樹	<p>1 農業振興について</p> <p>平成30年9月6日、本町を震源地とする北海道胆振東部地震により甚大な被害を受け、本町の基幹産業である農業関係も未曾有の被害を受けた。</p> <p>震災後3か月以上が経ち、行政サイドの懸命な復旧事業が各所で行われているが、来年度の営農、特に水田耕作関係（用水路・排水路関係）について、来年春の作付のための復興スケジュールを問う。</p>	収受 12/7

5	高田 芳和	<p>1 被災家屋の解体・撤去支援について</p> <p>① り災証明で全壊判定を受けた被災家屋について、所有者の依頼に基づき町が所有者に代わり解体・撤去を行っている。</p> <p>すでに自費で解体・撤去された方に対し、償還払いを適用しているが、今後、被災者自身が直接業者に依頼し解体・撤去する場合も同様の取り扱いができないか。</p> <p>② 半壊・大規模半壊の家屋について、解体費の2分の1を補助対象にしているが、被災者の経済的負担を考慮し、全壊判定同様の補助対象にできないか。</p>	収受 12/7
6	下司 義之	<p>1 厚真高校の支援</p> <p>本年6月の定例会で教育長から厚真高校に対する積極的な支援の答弁を受けている。</p> <p>7月17日には議会総務文教常任委員会で厚真高校南原校長先生から高校の現状説明を受けた。同日に行われた教育委員会への質疑の中で、学校内に設置した「厚真高校の将来像を考える検討会」に教育委員会職員も参加し協議を行う、という説明があったが、その後の進捗状況は。</p> <p>2 地域活性化の取り組み</p> <p>起業家人材育成事業の実施状況及び地域おこし協力隊（起業化、農業、林業等）の胆振東部地震による影響は。</p> <p>3 胆振東部地震に伴う被災状況</p> <p>住宅等の被災状況を照明する被害区分の状況及び、二次審査以降に区分が変更になった件数及び主な内容は。</p> <p>また、二次審査を申請しなかった理由は。</p> <p>4 SDGsの取り組み</p> <p>平成30年度町長施政方針の中で、「国が推進する持続的な開発目標、SDGsの一つである循環型社会の形成について議論を深めてまいります。」と述べているが、進捗状況は。</p>	収受 12/7